

レッスン 1 あるフォルダ配下の複数ファイルを1つずつアップロードするには

このレッスンでできるロボット レッスン1.bwnp

このレッスンでは、あるフォルダに保存されている複数のファイルを1つずつ順番にアップロードするロボットを作成します。アップロードが完了したファイルは別のフォルダへ移動させます。

具体的には、D:¥tmp に保存されているファイルのリストを作成しファイルリストに記載されたファイルを1つずつ移動させます。

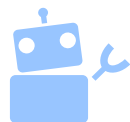
main	コマンド	ターゲット画像	入力内容	リトライ
1	ファイルリストの取得		ターゲットフォルダ: D:¥tmp フィルタ - フォルダ: ファイル(File)	
2	CSVで繰り返し 開始 DataDrive		取り込みデータ: @FileList	
3	文字列(切出)		文字列: @0 指定文字列: ¥	
4	コメント		//ここにアップロード処理を定義	
5	ファイルの操作		ファイル操作内容: 移動 操作対象ファイルパス: @0	
6	CSVで繰り返し 終了 << End-			



v1.3.0.2以前では ロボットの一部が異なります。v1.3.0.2以前では やりたいことガイド(実践編)_v1.3_20190228 をご確認ください

1 ファイルリストの取得 で アップロードファイルのリストを作成する

ターゲットフォルダ* (変数可)		1 アップロードファイルが保存されたフォルダを指定	コマンドオプションへ たとえば D:¥tmp
D:¥tmp			
フィルタ - フォルダ		2 リストの区切り文字を指定	全て - 改行セパレート
ファイル(File)			
フィルタ - 拡張子 (変数可)		3 作成したリストを保存する変数名を指定	たとえば @FileList
ソート			
名前で見順ソートする(Name Ascending)			
変数内容/変数書式			
全て - 改行セパレート(Newline separate)			
変数名*			
@FileList			



2,6

CSVで繰り返し(DataDriven) で 1で作ったファイルリストを
取り込み ファイルパスを 1つずつ 最後のファイルまで順番に読み込む

ファイルパス (変数可)

取り込みデータ

@FileList

区切り文字

その他

区切り文字(その他) (変数可)

¥r¥n

先頭行を列名にする

☐

文字コード

windows-31j

1 ファイルリストを指定

@FileList

2 ファイルリストの区切り
文字を指定

その他
¥r¥n



データ開始行 データ終了行
カウンタ変数名 は
空にします

3 文字列(切出)で ファイルパスからファイル名のみを抽出する

文字列

@0

指定位置 (変数可)

指定字数 (変数可)

指定文字列

¥

切出方法(先頭は1)

最後の「指定文字列」の後から末尾まで

データのエンコーディング

UTF-16

編集 - 変数等の展開

空白単位で変数等を判断する

編集 - 変数等の展開対象

変数を変換する

編集 - トリミング

なし(none)

制御文字変換方式

文字¥r,¥n,¥tを制御文字に変換しない

変数名

@FileName



変数@0 に
ファイルパスが格納される

1 ¥ を指定文字列にする

2 ファイルパス最後の ¥ の
後からファイルパス末尾
までの文字列を抽出

最後の
「指定文字列」
の後から
末尾まで

変数 @FileName に
ファイル名が格納された

4 お好みのアップロード処理を追加する

5 ファイルの操作 で アップロードが完了したファイルを移動させる

ファイル操作内容

移動

操作対象ファイルパス* (変数可)

@0

操作後フォルダパス (変数可)

D:¥tmp2

操作後ファイル名 (変数可)

@FileName

変数名*

@OperatedPath

1 移動先フォルダを指定

5の処理が
きちんと
終わったら

変数 @OperatedPath に
移動後ファイルパスが
格納された

たとえば
D:¥tmp2

1



複数ファイルのアップロード

